

# 図書委員会だより

No.1 おすすめの本 R4.6.29発行

## 図書委員のおすすめ1・・・「愛×数学×短歌」

皆さんは数学が好きですか？私は数学が大好きです。皆さんの中には数学が苦手な人や嫌いな人がたくさんいると思います。そこで、私はこの「愛×数学×短歌」という本を紹介します。この本には名前の通り数学に関わる短歌が載っている本です。でも、それだけではありません。出会いの話も載っています。

高校2年生の澤田恭平は東北からやってきた同級生の北村梨花と出会います。恭平は部活で数学同好会に入っていて梨花は前の学校で文化部に入って短歌を作っていました。そこで梨花は恭平と数学短歌を作ろうと相談をして二人の仲は深まっていき、また恭平と梨花は付き合うようになり、さらに二人の仲は深まるようになりました。ところがある日、梨花は家族の都合でまた転校前の学校へ行くことになってしまいました。二人は別々になってしまいますがまた数年後に二人は再会します。



ここでわたしが心に響いた数学短歌を2つ紹介します。

①「愛(i)あれば 虹(2次)のすべてを 解き明かし いろいろな向きに 世界広がる」  
綾塚祐二

○理由・・・数学用語を他の言葉に変えることで「そういうことか～」と  
納得することができたから

②「あいたいと せつないを足して 2で割れば つまりあなたは たいせつだった」  
千原こはぎ

○理由・・・あい”たい”と”せつ”ないの2つの言葉を足して”たいせつ”にすることが  
とても感動したから

ほかにも数学に関する短歌はたくさんあります。ストーリーの状況によってまとめられているのでとても読みやすいです。実はこの本は「愛と数学の短歌コンテスト」という大会で集められた短歌を選んで書籍化したものです。皆さんもこの本を読んで数学を好きになって自分で数学短歌を作ってみてください。最後に自分が考えた数学短歌を発表します。

「円周率 無限に続くその数は まるで未来を 描いているよう」

○理由・・・円周率は3.141592・・・と無限に続きます。未来は何十年も何百年も続くので円周率と合わせて表現してみました。

## 図書委員のおすすめ2・・・「ばかみたいって言われてもいいよ」

ある日、主人公の杏都は学校で生徒に大人気の塚原先輩に告白されます。杏都は「付き合えません。私は独身貴族になるんです。」と言いました。しかし、杏都たちを追ってきていた塚原先輩のクラスメートたちにのぞき見されていました。そして、校内には杏都が塚原先輩に告白したと言う噂が広まってしまいました。それから、杏都は先輩たちから悪口を言われるようになってしまいます。

そんな、杏都の家でもあるトラブルが起こっていました。お父さんと、お母さんが別居することになってしまいました。妹の月乃と「私達はお母さんについていく。」と話していました。しかし、家族で話をしたとき、月乃は「私はお父さんについていく。」と言いました。そして、杏都はお母さんと一緒におじいちゃんの家に行くことになります。私が杏都の立場だったら、何もかも上手くいってなくて辛いと感じてしまうと思います。

これから、杏都は転校して新しい友達ができます。杏都は新しい学校で楽しく過ごしていけるのでしょうか。ぜひ、皆さんもこの本を読んでみてください。



## 図書委員のおすすめ3・・・「星ごよみ」

私は星を見るのが好きなので、この本をオススメします。星の集まりにもたくさんの種類があることを知ったので豆知識を紹介します。

◎散開星団・・・星が不規則に数十個から数百個集まったもの。

◎球状星団・・・星が球状に数万個から数万百個集まったもの。

◎暗黒星雲・・・星間ガスや宇宙塵が集まったもので、背後の星雲や恒星によって黒々と浮かび上がる。

など普段見てる星の集まりにもしっかり名前があります!!

次は夏の星座についてです。ほんの一部を紹介します。

『夏の星座で最も賑やかなのが、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブで描かれる三角形。これを「夏の大三角形」という。夏の天の川は、夏の大三角を横切るように流れている。天の川を南（下）へたどると、さそり座のアンタレスがせき赤色にまたたいているのが見える。』など、星にも沢山の種類や名前があるので、ぜひ、みなさんも実際に見てみたり読んでみてください。

